

記載例は、中小企業者の内容となっております。
小規模事業者等は、機械装置等費(災害前に有
していたもの)のみ補助対象となります。

再建計画書

応募者名称※1: 福島株式会社

<応募者の概要> ※採択時に「事業者名称」、「補助事業で行う事業名」等が一般公表されます。

(フリガナ) 名称(商号または屋号)※1		フクシマカブシキガイシャ 福島株式会社												
法人番号(13桁)※2		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3
自社ホームページのURL (ホームページが無い場合は「なし」と記載)		http://www.xxxx.co.jp												
主たる業種※3		【以下のいずれか一つを選択してください】 ① () 商業・サービス業(宿泊業・娯楽業を除く) ② () サービス業のうち宿泊業・娯楽業 ③ (<input type="radio"/>) 製造業その他												
常時使用する 従業員数※4		40人		* 常時使用する従業員がいなければ、「0人」と記載してください。										
資本金額 (個人事業者は記載不要)		1,000万円				設立年月日(西暦) ※5			2000年6月10日					
連絡 担当 者	(フリガナ) 氏名	フクシマ タロウ 福島 太郎			役職			課長						
	住所	(〒123-4567) 福島市〇〇町〇-〇												
	電話番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			携帯電話番号			〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇						
	FAX番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			E-mailアドレス			〇〇〇〇〇〇@XXX.ne.jp						

※再建計画書の作成にあたっては商工会・商工会議所・中央会と相談し、助言等を得ながら進めることができます。

<計画の内容(事業再建に向けた取組)>

1. 事業概要(自社の概要や市場動向、経営方針等を記載ください)

【企業概要】

設立 : 平成12年6月
業種 : その他の衣服・繊維製身の回り品製造業
立地 : 福島市〇〇町(国道〇線沿いに位置する)
従業員 : 40名
店舗 : なし。工場のみ。

弊社は平成12年6月の創業以来、高齢者向け衣料品の製造を行っており、今後ますます進んでいく高齢社会に向け「高齢者が楽しく、着やすい衣服」を商品製造のコンセプトとし、事業を展開している。現在、南東北、北関東の小売店を中心に約70の店舗へ商品を出荷しており、機能性の高い商品は消費者に高い評価をいただいている。

【外部環境】

- ・高齢化を背景とし、多様化するニーズに合わせた高齢者向けの衣服は需要が増加基調。
- ・外資系服飾メーカーの国内進出や、国内大手服飾メーカーが高齢者向けブランドを確立し、囲い込みを実施するなど競争激化。
- ・なお専業ではない会社のコラボ商品も台頭し、異業種からの参入も見受けられる。

【内部環境】

- ・経営者（68歳）は高齢ながら、専務である息子（37）が後継者であり今後5年以内に事業承継を実施する予定。
- ・外注はせず全て自社製造を行うことで製品の品質では取引先より高い信頼を得ている。
- ・毎年地元の高校に技術指導を行っており、指導先の高校からの新卒入社した若手社員も多いが、創業来の従業員も数名おり、若手社員と年配技術者がいるバランスの良い職場となっている。
- ・社内OJTに加え、資格取得支援、希望者には服飾系の専門学校への授業料一部補助や、自己啓発による休職制度を設けるなど社員教育に力を入れている。

【経営方針】

「服飾製造を通じて人、地域社会に貢献する」ことを経営方針としている。外注はせず、全て自社製造により、品質管理を徹底し、お客様へ最高品質の商品を提供している。地域の基幹産業である服飾製造でのロールモデルとなれるよう弊社で働く社員が笑顔で実力を発揮できる環境を整えるよう努めている。

2. 被災の状況（被災の状況、自社を取り巻く環境を記載ください）

- ・弊社工場の背後に流れる河川が氾濫、工場と事務所棟の床上40cmまで浸水した。浸水の影響で工場に設置していた製造機械（裁断機、ミシン等）が使用不能になり、事務所内の事務用品の多くが買い替えを余儀なくされた。（被害額300万円程度）
- ・また、製造ラインの中断により小売店への商品納入が滞っており、小売店からは早期の営業再開と更なる高機能の製品が待ち望まれている状態である。
- ・対前年10～12月同月比売上10%減少（約100万円/月の減少）している。

3. 今回の申請計画で取り組む内容

【事業名：30文字以内で記載】

高齢者向け高機能衣料品製造事業

【計画内容】（上記1.2.を踏まえて、事業再建の取組を記載ください）

まずは弊社製造ラインのミシン入替を行い、これまでの顧客である小売店へ商品を安定供給し、従来どおり高品質の商品を消費者に届ける。加えて、様々な小売店からの声に応えるため、汚れが付きにくく、保温性に優れた生地を使用した高機能衣料品を新規開発し、雑誌広告や展示会を実施することで、新規顧客開拓により、被災前以上の売上を達成することを目標とする。

【取り組み事業概要】

①現状復帰事業

工場と事務所棟の浸水部分の原状復帰・消毒を実施。また壁の洗浄、内装張り替えを行う。その後、製造ラインのミシン入替により、製造体制を確立する。なお、今回のミシンの入替については、一括償却資産であり資産計上が性質上不要であったため、グループ補助金の対象外となり、本補助金で申請する。

②高機能衣料品新規開発事業

写真、データがありましたら添付して
説明をお願いします。

機械装置等費の場合、グループ補助金で申請できない理由を記載してください。

汚れが付きにくく、保温性に優れた生地を使用した自社ブランド高機能衣料品を製造開発する。

③販路拡大事業

業界向け雑誌掲載し、HPもリニューアルするなどの広報活動を行う。なお、新ブランドを発表する展示会を開催し取引先へも広く周知する。

4. 事業再建に向けた取組の中で、本補助金が経営上にもたらす効果

まずは工場と事務所棟の浸水部分の原状復帰、ミシンの入替により製造体制を確立できる。また新素材を仕入れることで高機能衣料品開発を行い、軌道に乗れば単価5千円×300着=1,500千円/月の売上増が期待できる。業界向け雑誌への広告掲載、HPリニューアル、新ブランド発表展示会による広報活動を行い、半年以内に前年比以上の売上増を目指す。

以上の取り組みから、台風被害により減少した売上を早期に回復させ、お客様と社員雇用を守り、地域の基幹産業である服飾製造復興に貢献していく。

記載例ですので、多数の経費区分を記載しております。実際に申請される際には、計上したい経費のみを記載してください。補助対象外経費の計上や、補助金計算額に誤りがないようにご注意ください。

以下の例にならない、経費区分だけではなく、それぞれの経費区分名の前に経費区分番号①～⑦を記入してください。

課税事業者は「税抜」、その他の方は「税込」を囲み、対象経費を記入します。

<支出経費明細等>

経費区分	内容・必要理由	経費内訳 (単価×個数・回数等)	補助対象経費 (単位:円) (税抜・ <u>税込</u>)
①機械装置等費 (災害前より所有)	ミシン入替	130,000円×5台	650,000
②広告費	業界向け雑誌への広告掲載	120,000円×1回	120,000
③展示会等出展費	新ブランド発表展示会	300,000円×1回	300,000
④開発費	新商品の試作品原材料費(新素材購入)	70,000円×4枚	280,000
(1) 補助対象経費合計			1,350,000
(2) 補助金交付申請額 (1)×補助率2/3以内(円未満切捨て)			900,000

<補助対象経費の調達一覧>

区分	金額(円)	資金調達先
1. 自己資金	250,000	
2. 補助金額 (※①)	900,000	
3. 金融機関からの借入金	200,000	〇〇銀行
4. その他	0	
5. 合計額 (※②)	1,350,000	

<「2. 補助金」相当額の手当方法>(※③)

区分	金額(円)	資金調達先
2-1. 自己資金	400,000	
2-2. 金融機関からの借入金	500,000	〇〇銀行
2-3. その他	0	